

## 第16回中学高校教員のための英語教育セミナー

テーマ：音読指導

日時 3月27日(土) 9:55~16:45

28日(日) 10:00~16:25

場所 キャンパスプラザ京都 (JR京都駅・ビックカメラ前) 5階 第1講義室

	[ 参加費 ]		事前申込の場合		当日参加の場合:大修館『英語教育』3月号に掲載されている当日参加費は誤りです。ご注意ください。	
	2日間	1日のみ	2日間	1日のみ	2日間	1日のみ
① LET 会員	1,500円	1,000円	2,500円	1,500円	2,500円	1,500円
② 英語の教え方研究会会員・より良い英語教育を考える会会員	2,500円	1,500円	3,500円	2,000円	3,500円	2,000円
③ ①以外の大学院生・学部生	2,500円	1,500円	3,500円	2,000円	3,500円	2,000円
④ ①②③以外の方	5,000円	3,000円	6,000円	3,500円	6,000円	3,500円

### [ 参加申込方法 ]

#### 1. 事前申し込み：3月15日(月)締切(郵便局当日受付印有効)

郵便局備え付けの振替用紙に必要事項をご記入の上、ご送金ください。なお、お送りいただきました参加費は理由の如何に関わらず返金いたしかねますので、ご了承ください。

口座番号： 00920-7-153267	加入者名： 鈴木寿一
必要事項： <u>振替用紙の通信欄に次の事項を必ずお書きください。</u>	
1. 参加日：例1: 3/27 3/28 (2日間ご参加の場合) 例2: 3/27 (1日のみご参加の場合)	
2. 送金内訳：(例) 参加費 1500円、書籍代金5,700円(書籍番号1, 2, 3)のように明記してください。	
3. 電子メールアドレス(お持ちでない方は電話またはFAX番号)	
4. 勤務校名または在籍校名： (例) 教員の場合 ○○市立△△中学校 ○○県立△△高等学校 ○○大学 学生の場合 ○○大学△△研究科院生 ○○大学△△学部	

#### 2. 当日ご参加の場合：セミナー当日、受付にて当日参加費をお支払ください。

### [ 本セミナーに関する問い合わせ先 ]

〒596-0827 岸和田市上松町 610-205 鈴木寿一 電子メール j\_suzuki@kufs.ac.jp  
出張依頼状が必要な方は、所属及び所属長名を明記の上、80円切手を貼付した返信用封筒(要宛名)を同封の上、上記問い合わせ先まで3月13日(土)必着でご請求ください。

[ プログラム ] 西本有逸先生のご都合で、大修館書店発行の『英語教育』3月号に掲載された内容と一部変更になっております。ご了承ください。

3月27日(土) 9:20 受付  
9:50 開会

10:00~11:20

効果的な英語授業を行うための音読指導のあり方：音読の必要性を考える

京都外国語大学 杉本義美

授業で音読をしても声が出ない、生徒が音読の大切さを理解していない、テストや入試に音読は出ないので積極的に音読しようとしないうという声をよく聞きます。その様な生徒(中・高生)に音読をさせる方策を提案します。具体的には、生徒に音読がどんな効果をもたらすのか、音読をすることで学力や英語力がどう伸びていくのかを実感させる必要があります。この講義では、生徒に音読の大切さを実感・理解させる方策及び音読を授業で取り入れていくポイントを提示したと考えます。

11:20~12:45 昼食・展示

12:45~13:45

目的別音読指導法：「言語材料を内在化するための音読」から「コミュニケーションのための聴き手を意識した音読」へ①

京都外国語大学 鈴木寿一

外国語として英語を学習する日本人中学生や高校生の英語力を伸ばすためには音読指導が不可欠ですが、その目的が明確でない儀式的な音読指導が行われていることが少なくありません。せっかく行われている音読指導を有効なものにするための「言語材料を内在化するための音読」と「コミュニケーションのための聴き手を意識した音読」のための各種音読指導法を実際に体験していただきながら、それらをどのように配列すれば効果的な指導になるかを提案させていただきます。

13:45~14:00 休憩・展示

14:00~15:00

目的別音読指導法：「言語材料を内在化するための音読」から「コミュニケーションのための聴き手を意識した音読」へ②

京都外国語大学 鈴木寿一

午前の部の続き。

15:00~15:15 休憩・展示

15:15~16:45

中学校における音読指導：Fluency 指導とインタラクティブな音読指導のあり方

西武文理大学 鈴木政浩

海外の研究、特に母語におけるリーディング指導や、リーディングに問題を抱えた学習者を対象とした研究には、音読の重要性を認めるものがたくさんあります。その多くはfluency指導に代表されるように、文字・音・意味の一致を自動化し、流暢に音読できる能力が、読解力を支えるという立場を取っています。今回はこうした領域の文献から、聞き手を意識した音読の指導法をご紹介します。ペアワークに加え、ビデオ収録に向けたパフォーマンス、洋画やネットを活用した自学自習のシステム、音読に活用するソフトウエアなど幅広くご紹介いたします。学生のパフォーマンスを収録したビデオなどもご覧いただけます。

3月27日(土) 9:40 受付

10:00-11:30

英語コミュニケーションの基礎力を育成する音読指導：リード・アンド・ルックアップからストーリー・リプロダクションへ

大阪府立寝屋川高等学校 平尾一成

高校の授業では、受験指導を理由にコミュニケーションの指導は敬遠されほとんど行われなない。また、中学校では当然のように行われている音読活動も、高校段階になると単なるルーティーンとして行われている場合がある。音読が重要であるとわかっているにもかかわらず、時間の制約を理由に省略したり家庭学習にまかせたりすることも多い。しかし、リードアンドルックア

ップを中心とした音読指導とストーリーリプロダクションによるアウトプット活動が、言語習得とコミュニケーションの基礎力養成に効果があるということが多くの実践から経験的にわかっている。本発表では、音読とストーリーリプロダクションを中心とした授業実践を基に、生徒個人の英語力を伸ばすアウトプット活動はどうあるべきかについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

11:30-13:00 昼食・展示

13:00-14:30

### 音読評価の一試案とパソコンソフト Speak! を活用した音読指導と評価

西武文理大学 鈴木政浩

古くから「音読を聞けば英語力がわかる」と言われます。音読の評価項目については、いくつかの文献で提案がなされています。前半は、音読の評価項目として、単語の発音・ポーズ・ストレス・イントネーションに加え、近年シャドーイング指導で再び注目されるようになった音変化を取り上げます。授業で使用するプリントなどの教材を元に紹介しながら、評価項目ごとの評価方法について提案をします。音読評価の方法は、評価者が実際に聞いて評価をするだけでなく、音声認識のシステムを使った方法があります。後半は、音読練習に役立つだけでなく、学習者の音読能力を判定してくれるSpeak!は授業で活躍してくれるパソコンソフトSpeak! を使った授業の進め方と評価について、実演を交えてご紹介します。

14:30~14:50

14:50~16:20

### 音読指導の諸問題と対策

杉本義美・鈴木寿一（京都外国語大学）・鈴木政浩（西武文理大学）

西本有逸（京都教育大学）・平尾一成（大阪府立寝屋川高等学校）

音読指導を行うとさまざまな問題にぶつかります。ここでは、教育現場における音読指導の諸問題とそれに対する対策を考えたいと思います。以下は、扱う予定項目です。また、参加者の皆様からいただいた、日頃感じておられる音読指導に関わる問題点にも回答させていただきます。

- ① 生徒の声が小さい。
- ② 生徒が音読に熱心に取り組まない。
- ③ 家で生徒は音読練習をしない。
- ④ 教師やCDのあとについて言わせているときは音読できるが、生徒だけで音読させると発音できない単語があったり、まちがった発音をすることが多い。また、意味単位の途中で切って音読する。
- ⑤ 生徒の音読が平板である。
- ⑥ 個人やペアで起立させて音読活動をさせると、早く終わった生徒やペアはおしゃべりして、遅い生徒やペアはごまかして座ってしまう。
- ⑦ 入試では音読が出題されないのに、音読など必要ないと思っている生徒が多いクラスで音読させるにはどうすればよいか。
- ⑧ 管理職や同僚たちが、音読指導などしては入試に対応できないと批判したり、音読指導を止めるように圧力をかけてくる。

16:25 閉会

## [ 講師紹介 ] (プログラム順)

### 杉本義美（すぎもと よしみ） 京都外国語大学外国語学部英米語学科准教授

1956年生まれ。京都教育大学英文学科卒業後、18年間京都市立朱雀中学校英語科教員として勤務の後、5年間の京都市教育委員会学校指導課指導主事、京都市総合教育センター指導室指導主事を経て、2005年より現職。専門は英語教育学、教育評価。勤務校では、学部のTEFLコース専門科目Professional Development in TEFL、英語教育法、英語教育学ゼミなど、大学院博士前期課程で、授業観察分析、評価、修論ゼミなどを担当。中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会外国語専門部会委員(第3,4期)及び文部科学省教科用図書検定調査審議会専門委員などを務める。著書：『中学校英語授業指導と評価の実際』（大修館書店）、分担執筆：『私の英語授業』（大修館書店）、「指導と評価の一体化を目指す英語授業」（東京書籍）ほか、英語教育に関する論文多数。

### 鈴木寿一（すずき じゅいち） 京都外国語大学外国語学部英米語学科教授

神戸市外国語大学英米学科卒業。公私立の中学・高校4校で26年間、本当に生徒のためになる英語授業を実証的に追及し、1998年京都教育大学助教授、2001年同教授、2005年より現職。勤務校では、学部と大学院博士前期・後期課程で英語教育関係科目及び研究指導を担当し、学外では、文部科学省及び教育委員会研究指定校のアドバイザーを務めています。4技能指導法、4技能と結びつけた文法指導法、語彙指導法の研究とその教材の開発、現場からの要請による訪問授業改善指導などに取り組んでいます。共編著：『より良い英語教育を目指して』、『音読・シャドーイング指導法ハンドブック（2010年出版予定）』（大修館書店）、分担執筆：『英語教育の基礎知識』、『英語科教育法ハンドブック』（大修館書店）、『新しい読みの指導』（三省堂）、高等学校用検定教科書MAINSTREAM, NEW STREAM シリーズ(増進堂)、学習参考書：『クリスタル総合英語』（増進堂）ほか。

### 鈴木政浩（すずき まさひろ） 西武文理大学講師

埼玉大学大学院修士課程修了（教育学修士）。埼玉県内中学・高校を経て現職。中学校と大学の教員年数が同じになりました。英語の勉強についていけないまま高等教育の門をくぐった学生たちと日々格闘しています。「英語学力の基礎は音読から」をモットーに、音読指導とその効果について実証研究を進めています。日々の授業では音読指導と関連させて、CALL、ネットワークを活用した授業を通じ、自律（自立）した学習者の育成を目指しています。中学・高校に勤務していた頃の経験を活かし、「授業学」という授業のあり方についての研究を始めました。高校生の頃始めたギターを再び手にし、下手の横好きですが、少しずつレパートリーを増やしています。共著：『高等教育における英語授業の研究－授業実践事例を中心に』（松柏社）、論文：「ソフトウェアを活用した音読スコアの推移分析－音読練習20回は妥当か？」*Language Education & technology*, 46, 61-78.）、「音読ソフトを利用した音読評価のスコア化：習熟度との関係および繰り返し音読におけるスコア変化の検証」(関東甲信越英語教育学会紀要第21号)、「音読の評価をどうするか」(『英語教育』2009年11月号)ほか。

### 平尾一成（ひらお かずなり）大阪府立寝屋川高等学校教諭

教職28年。大阪府立守口東高等学校、枚方高等学校、門真なみはや高等学校を経て現職。枚方高校で国際教養科の立ち上げに参加した経験から「受験勉強とコミュニケーション指導の両立」と「生徒が主体的に学ぶ授業方法」、「生徒の動機付け」に興味があります。「生徒と共に学ぶ」がモットーです。現任校でのSELHi研究で学んだ経験を生かし、より良いリーディング授業とはどうあるべきかについて日々勉強しています。趣味は、旅行とスポーツ。バレー部の顧問として毎日生徒たちと一緒に汗を流しています。分担執筆：『すぐれた英語授業実践』、『音読・シャドーイング指導法ハンドブック（2010年出版予定）』（大修館書店）、共同研究：「高等学校英語I IIの授業の大半を英語で行う工夫とその授業の効果」(*STEP BULLETIN vol.17*)、雑誌記事(『英語教育』)：「英語I・IIの年間計画」(2005年4月号)、「音読指導の工夫 生徒をその気にさせる」(2009年11月号)。

## 西本有逸（にしもと ゆういち）京都教育大学教授

兵庫教育大学大学院修了。大阪府内の3つの国公立高等学校に計14年間勤務。2001年京都教育大学助教授。2008年より現職。専門は英語教育学。英語科教育を認識論と存在論から照射する。リーディング論を中心とする認識論だけでなく、人間の存在に外国語教育がどのような役割を果たすのかを身体・言語・情動・人格を基軸に考究している。共編著：『これからの英語学力評価のあり方』（教育出版）、分担執筆：『英語リーディングの認知メカニズム』（くろしお出版）、『より良い英語授業を目指して』、『音読・シャドーイング指導法ハンドブック（2010年出版予定）』（以上、大修館書店）、論文：Pedagogically Motivated Framework of Ontology in the Cultural-historical Theory: Emoting, Linguaging, and Authoring the World. A Keynote Address at the 10th International Vygotsky Conference in Moscow, 2009.ほか。趣味は登山・アウトドア。最近では温泉巡りに取って代わりつつあることに複雑な気持ちになっている。

### [会場までのアクセス]

#### 会場までの交通機関

京阪電車利用の場合：丹波橋で下車、近鉄電車に乗り換え、近鉄京都駅下車(所要時間約10分) 会場(教室)まで徒歩約7分。

近鉄電車利用の場合：西大寺から急行で近鉄京都駅下車(所要時間約45分)、会場(教室)まで徒歩約7分。

JR利用の場合：京都駅下車。会場(教室)まで徒歩約5分。

阪急電車利用の場合：梅田から特急で烏丸で下車(所要時間約40分)、京都市営地下鉄に乗り換え、京都駅下車(所要時間約5分)、会場(教室)まで徒歩約7分。

### [事前申込割引販売書籍]

\* 書籍代金は参加費とともに振込用紙でご送金ください。

\* 以下の書籍を特別価格でご購入いただけますのは今回のセミナーにご参加の方のみです。書籍のみの注文はお引き受けできません。表示価格は消費税込の価格です。

\* 1から62の書籍以外にも、大修館書店発行の書籍はセミナー特別価格で入手できます。上記問い合わせ先へ、購入ご希望の書名と著者名をお知らせください。2, 3日後にセミナー特別価格をお知らせいたしますので、書籍代金を参加費とともにお送り下さい。

1. 斎藤栄二(著)『英語授業レベルアップの基礎』2100円→1700円
2. 斎藤栄二(著)『英語授業成功への実践』2100円→1700円
3. 斎藤栄二・鈴木寿一(編著)『より良い英語授業を目指して』2835円→2300円
4. F・ジョンソン(著)『コミュニカティブな英語授業のデザイン』1890円→1550円
5. 高島英幸(編著)『英語のタスク活動と文法指導』2625円→2100円
6. 高橋正夫(著)『実践的コミュニケーションの指導』2100円→1700円
7. 萩野俊哉(著)『コミュニケーションのための英文法』1890円→1550円
8. 金谷憲(著)『英語授業改善のための処方箋』1890円→1550円
9. 松沢伸二(著)『英語教師のための新しい評価法』2520円→2050円
10. 杉本卓・朝尾幸次郎(著)『インターネットを活かした英語教育』1890円→1550円
11. 静哲人(著)『英語テスト作成の達人マニュアル』2520円→2050円
12. 津田塾大学読解研究グループ(編)『英文読解のプロセスと指導』2730円→2200円
13. 石田秀雄(著)『英語冠詞講義』1680円→1350円
14. 佐野正之(著)『アクション・リサーチのすすめ』1890円→1550円
15. 岡秀夫(監修)『オーラル・コミュニケーション・ハンドブック』1890円→1550円
16. 竹田明彦(著)『学校用語英語小事典』第3版 2415円→1950円
17. 望月正道ほか(著)『英語語彙の指導マニュアル』2100円→1700円
18. 金谷憲ほか(著)『英語力はどのように伸びてゆくか』1995円→1600円

19. 瀧口優(著)『苦手を好きに変える英語授業』1785円→1450円
20. 清川英男ほか(著)『英語教師のためのEXCEL活用法』1890円→1550円
21. 吉田研作ほか(著)『日本語を活かした英語授業のすすめ』1785円→1450円
22. 田中武夫ほか(著)『自己表現活動を取り入れた英語授業』2310円→1850円
23. 山内進(著)『言語教育学入門』2520円→2050円
24. 三浦省五(監修)『英語教師のための教育データ分析入門』1680円→1350円
25. 小池生夫(編集主幹)寺内正典他(編著)『第二言語習得研究の現在』2940円→2400円
26. 白畑知彦(編著)『英語習得の「常識」「非常識」』1785円→1450円
27. 岡秀夫・赤池秀代・酒井志延(著)『英語授業力強化マニュアル』2310円→1850円
28. 佐野正之(著)『はじめてのアクション・リサーチ』1680円→1350円
29. 高島英幸(著)『文法項目別・英語のタスク活動とタスク』2520円→2050円
30. ゴルトマン・ドルニエイ(著)・米山朝二・関昭典(訳)『動機づけを高める英語指導ストラテジー35』2205円→1800円
31. 酒井邦秀・神田みなみ(編著)『教室で読む英語100万語—多読授業のすすめ』1575円→1300円
32. 西野春雄(著)『英語学習のための情報リテラシー』1365円→1100円
33. 小寺茂明・吉田晴世(編著)『英語教育の基礎知識』1680円→1350円
34. CD-ROM版『ジーニアス英和(4版)・和英(2版)辞典』9240円→7400円
35. 山岡憲史(著)『英語の基本単語徹底活用クロスワード101』1260円→1050円
36. 望月昭彦・山田登(編著)『私の英語授業』3045円→2450円
37. 村野井仁(著)『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』1680円→1350円
38. 小池生夫(編集主幹)『第二言語習得研究の現在』2940円→2400円
39. 大学英語教育学会学習ストラテジー研究会(編著)『英語教師のための「学習ストラテジー」ハンドブック』1680円→1350円
40. 杉本義美(著)『中学校英語授業指導と評価の実際—確かな学力をはぐくむ』1260円→1050円
41. 田中茂範・佐藤芳明・阿部一(著)『英語感覚が身につく実践的指導:コアとチャックの活用法』1890円→1550円
42. 門田修平・池村大一郎(編著)『英語語彙指導ハンドブック』2625円→2100円
43. 小西友七・南出康世(編集主幹)『ジーニアス英和辞典』第4版 3465円→2800円
44. 岸野英治(著)『総合コミュニケーション英語文法』3780円→3050円
45. 石川慎一郎(著)『英語コーパスと言語教育』2730円→2200円
46. 大井恭子(編著)、田畑光義・松井孝志(著)『パラグラフ・ライティング指導入門』2100円→1700円
47. 萩野俊哉(著)『英文法指導Q&A』1890円→1550円
48. 松村昌紀(著)『英語教育を知る58の鍵』1890円→1550円
49. 金谷憲(編著)『教科書だけで大学入試は突破できる』1890円→1550円
50. 和泉伸一(著)『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』2310円→1850円
51. 松本青也(編著)『ネットで楽しく英語コミュニケーション』2100円→1700円
52. 白畑知彦ほか(編著)『英語教育用語事典』(改訂版) 2625円→2100円
53. 小池直巳・佐藤誠司(著)『英語ネイティブ度判定テスト』840円→700円
54. 今井邦彦(編)『最新語用論入門12章』1890円→1550円
55. 樋口忠彦ほか(編著)『すぐれた英語授業実践』2310円→1850円
56. 田中武夫・田中知聡(著)『英語教師のための発問テクニック』2310円→1850円
57. 金谷憲(編集代表)『英語授業ハンドブック・中学校編』(DVD付) 3780円→3050円
58. アレン玉井光江(著)『小学校英語の教育法 理論と実践』2310円→1850円
59. 渡部伸一(編)『「学び」の認知科学事典』3780円→3050円
60. 小山内大(著)『クイズ英語生活力検定 2』798円→650円
61. 小山内大(著)『クイズ英語生活力検定 1』798円→650円
62. 崎村耕二(著)『論理的な英語が書ける本』2520円→2050円